



フードセーバー® 取扱説明書

取扱説明書

このたびは「フードセーバー®」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
・ご使用前に、この取扱説明書をお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
・お客様の安全のため、必ず「安全にお使いいただくために」をお読みのうえご使用ください。
・取扱説明書および保証書は大切に保管し、必要なときにご使用ください。



© 2018 Sunbeam Products, Inc. All rights reserved. Distributed by Coleman Japan Co., Ltd., 10/F, Shibaura Square Building, 4-9-25, Shibaura, Minato-ku Tokyo, 108-0023 Japan. One Year Limited Warranty – see inside for details.

FoodSaver® はSunbeam Products, Inc. の登録商標です。その他商標はそれぞれの権利者に帰属します。著作登録されている文字・イメージが表示されています。予告無く仕様が変更される場合があります。

輸入元：コールマンジャパン株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦 4-9-25 芝浦スクエアビル

管理番号：9100260000441 Rev. A
GCDS-FSV380301-SL

www.foodsaverjapan.com

安全にお使いいただくために

フードセーバー® をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みになり、

注意事項・使用方法にしたがって安全に正しくご使用ください。

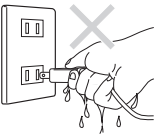
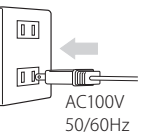
ケガや事故の原因になりますので、この取扱説明書に記載のない目的・方法では絶対に使用しないでください。

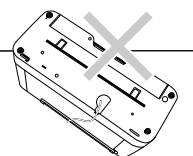
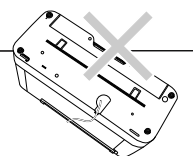
■ 絵表示について

表示内容を守らず、誤ったご使用をされたときに生じる危害や損害の程度を、下のような表示で区分して説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

マーク      は、してはいけない「禁止」の内容です。

マーク   は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

 警告	「人が死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容	
 濡れ手 禁止	 感電 注意	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない ・濡れた手で電源プラグをコンセントに抜き差ししたり、電源が入った状態の本体を触ったりしないでください。感電の恐れがあります。 
 禁止		交流 100V の電圧で使用する ・本製品は交流 100V 以外の電源コンセントには使用しないでください。延長コードは使用しないでください。タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。 
 禁止		異常な状態では使用しない ・お子様やペットのそばでは使用しないでください。 ・本製品または他の部品を落としたり損傷した場合には、使用しないでください。 ・本製品を異常な状態で使用しないでください。煙が出たり、へんな臭いがするなど、異常な状態で使用すると、火災・感電の原因になります。
 水濡れ 禁止	 感電 注意	水をかけたり、濡らしたりしない ・火災・感電・ケガを防ぐため、フードセーバー本体、電源プラグ、電源コードを水などの液体に浸けないでください。 
 分解 禁止	 修理 注意	自分で分解・修理しない ・自分で分解、改造、修理することは絶対にしないでください。破損・故障・ケガ・事故の原因になります。 ・本製品、電源コード、プラグが損傷しているとき、または正しく作動しないときは、巻末にご案内している連絡先に修理を依頼してください。 
 禁止		記載のない目的、方法で使用しない ・この取扱説明書に記載のない目的、方法では絶対に使用しないでください。ケガや事故の原因になります。
 取扱 注意	 高温 注意	・専用パック、バックロールに熱いものを入れないでください。（十分冷ましてから入れてください）やけどの原因になります。

 注意	「この表示を無視して誤った取り扱いをすると損害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される。」内容を示しています。	
 取扱 注意	 プラグ を抜く	電源プラグを抜くときはコードを引っ張らない ・電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って抜いてください。 ・お手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて冷ましてから行ってください。
 取扱 注意		指をはさまないように ・ふたの開閉時に指がはさまれないように注意してください。 ・水気の多いものをそのまま吸引密封しないでください。本体が液を吸い込み、故障の原因になります。 ・使用直後は、本体の密封用ヒーター部分や袋の密封部分は大変熱くなります。使用中・使用後の取り扱いには充分ご注意ください。やけどの恐れがあります。
 プラグを抜く		放置しない ・電源コードをコンセントに差し込んだまま、フードセーバーのそばを離れないでください。
 ほこりを取る		ほこりやゴミを取る ・電源プラグに付いたほこりやゴミは取り除いてください。 
 禁止		本体を逆さ、横倒しで使用しない ・使用時はフードセーバーを逆さにしたり、横倒しにしないでください。 ・使用中に移動させないでください。感電・ケガの原因になります。 
 禁止		水気、火気の近くに置かない ・台所の流し台、水気のある場所、油煙や湯気があたる場所、湿気やほこりの多いところでは使用しないでください。火災・感電の原因になります。 ・本体・袋・専用バッグ・専用バックロールを火気の近くに置かないでください。火災の原因になります。
 取扱 注意		炊飯器使用の注意 ・圧力式の炊飯器では吸引密封したパックを使用する真空クッキングを行わないでください。炊飯器内部が 100℃以上になるため、袋が破裂したり、炊飯器が故障する場合があります。 ・炊飯器を使用する場合は、炊飯器の説明書も併せてお読みください。 ・炊飯器を使用する真空クッキングはお客様ご自身の責任で調理してください。事故・破損について、当社は責任を負いかねます。
 禁止		ゴムパッキンを研磨剤で拭かない ・黒いゴムパッドを研磨剤などで拭かないでください。故障の原因になります。 ・保存物をオープンや直火で戻さないでください。
 取扱 注意	 高温 注意	電源コードの取り扱い注意 ・電源コードは、使用時に束ねないでください。 ・電源コードをテーブルやカウンターの端などに引っかけたり、ドアにはさんだり、ねじったり、もつれさせたりしないでください。破損・故障やケガの原因になります。 ・電源コードをコンロや暖房器具など高温になるものに近づけないでください。電源コードの破損ややけどの原因になります。 ・電源コードを鋭利なものに触れさせないでください。

■ ご使用にあたって

本製品は、食品やその他の生活用品を袋に入れ、空気の吸引&密封をおこなったり、保存物によっては、袋の密封のみをすることにより効果的に保存するものです。

●食品を保存するときは、空気の吸引&密封をおこない、冷蔵庫や冷凍庫に保存してください。

●空気を抜いて密封しても、鮮度は少しずつ劣化します。早めの消費をお勧めします。

●本製品はあくまでも鮮度を保つものであり、殺菌作用はありません。保存には十分ご注意ください。

●業務用などで使用されている、強力な真空ポンプにより空気を抜き取る方法とは異なります。完全な真空状態にはなりません。

■ご使用上の注意

- お客様の不注意による破損・故障・ケガ・事故・火災に対する責任は負いかねますのでご了承ください。
- 取扱い説明書の注意事項、および使用方法が守られない場合は、当社は一切の責任を負いかねます。
- 使用前に、製品が破損していないか点検してください。
- 本製品はおもちゃではありません。
- お子様だけでのご使用はおやめください。
- 使用者以外の人、ペット、植物のそばでは使用しないでください。
- 付属品以外のものを本体に取り付けしないでください。
- 本製品は屋内で使用するものです。絶対に屋外では使用しないでください。
- 故障したり、または故障と思われる場合は、使用しないでください。
- 製品が破損したとき、または製品に異常を感じたときは、直ちに使用を中止してください。

■本製品の用途について

- 本製品は一般家庭で個人が使用するために製造された製品です。業務用としての使用は絶対にしないでください。

■保管と廃棄について

- 本製品は安全で乾燥した場所に保管し、次のような場所には保管しないでください。
 - ・極端に高温、低温、多湿になる場所
 - ・ほこりが多い場所
 - ・お子様の手の届く場所
 - ・野外、直射日光のあたる場所
 - ・油煙や湯気のあたる場所
- 保管の際は、グリース、油、泥、冰雪、未乾燥の塗料、または他の滑りやすい物から遠ざけてください。
- 保管の際は、清潔に保ち、有害物から遠ざけてください。
- 保管の際は、必ず平らで安定した場所に保管してください。
- 本製品を廃棄するときは、各自治体の指示に従い、適切な方法で廃棄してください。

■保守と点検について

- 事故防止のため、当社が推奨、または販売している部品のみ使用してください。
- 部品が破損、または紛失した場合は、当社にて修理してから使用してください。
- 故障、劣化、または火や化学物質で腐食した場合は、使用しないでください。

●お願い

使用方法を誤りますと、機器を傷めたり、故障の原因になります。

- 続けてパックする際は、最低 20 秒は休ませてください。休止時間をおかずに連続して使用すると、保護センサーが働き、数分作動しなくなることがあります。
- 密封用ヒーター、吸引溝、吸引口は常にきれいな状態で使用してください。
- 密封パックした食品を電子レンジで調理する際は、袋の角を切って加熱してください。

はじめに

フードセーバー[®]をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

フードセーバー[®]は、真空状態にして空気の侵入を防ぎ、

食材や身の回りのものを酸化・腐食・湿気から守るためにご利用いただけます。

一人暮らしの方からご家族まで、さまざまな方に幅広い用途でお使いいただけます。

また、安全に効率よくお使いいただけるよう、安全上の注意事項や使用方法を記しています。

ご使用前に必ずお読みください。

保証書は本書巻末にあります。

本書を紛失しないよう、いつでも手にとれる場所に保管してください。



■もくじ

安全にお使いいただくために……………	2
はじめに……………	5
フードセーバー [®] の特長……………	6
付属品について……………	7
各部の名称と機能……………	8
ご使用方法……………	10
袋をつくる / 密封する ……………	11
空気の吸引&密封する ……………	12
上手に吸引するコツ ……………	13
アクセサリーの使い方 ……………	14
柔らかい食品を吸引する場合 ……………	16
ドリップトレイ（受け皿）のお手入れ……………	16
上手な保存方法のヒント ……………	17
解凍・調理する ……………	18
別売品 ……………	18
保管とお手入れ方法 ……………	19
こんなときには……………	20

フードセーバー®の特長

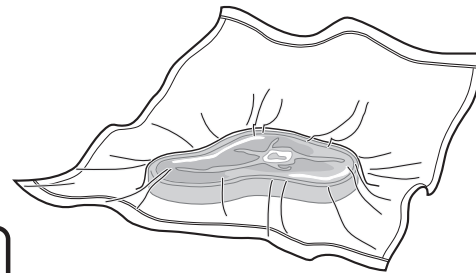
生鮮食料品は空気に触れると栄養価、色、香り、みずみずしさ、品質が劣化します。

フードセーバー®は専用バッグ/専用パックロールを使って空気を抜き、密封パックすることで、食品の鮮度の低下や、酸化による品質の劣化を軽減します。

●鮮度・香り・成分を長く保つ

肉、魚介などを密封することでニオイ移りを防止します。

- ・冷凍時の霜付き防止に
- ・冷蔵時の鮮度維持に
- ・もち、粉末類、茶葉、乾物の湿気・害虫防止に



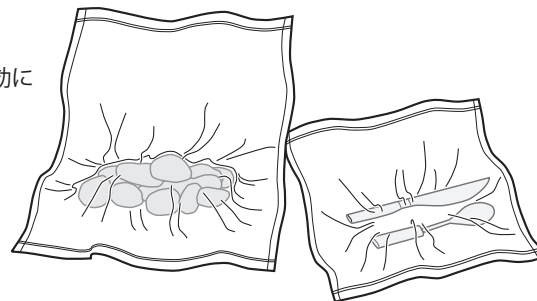
⚠注意

- ・本製品は食品の鮮度や酸化による品質の劣化を軽減するものです。保存した食品の安全性を保証するものではありません。
- ・業務用の完全密封真空パック類とは能力が異なります。ご了承ください。

●お金・時間・労力をセーブ

材料をまとめ買いし、賢く保存することでお金と時間を有効に使えます。

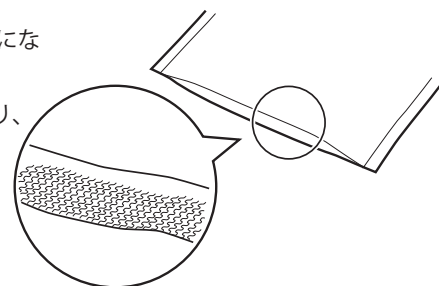
- ・材料の下ごしらえに
- ・できあがった料理の保存に
- ・茶葉・乾物の保存に
- ・余った食材の保存に
- ・アウトドアの移動時に
- ・汚れ・害虫防止に
- ・酸化による黒ずみ防止に（銀食器など）



●専用の袋で強力密封

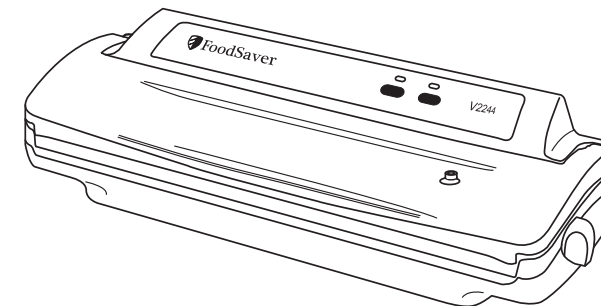
独自開発された専用の袋によって、空気を強力に吸引することが可能になりました。

- ・袋の特殊構造により、内容物の形状に関係なく空気の抜けがよくなり、密封度がアップします。
- ・外側のナイロン層は新鮮さを閉じ込め、空気と湿気を閉め出します。

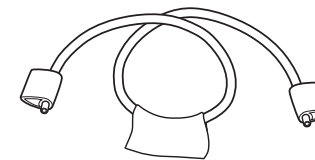


付属品について

フードセーバー®購入時に同梱されている付属品について説明します。

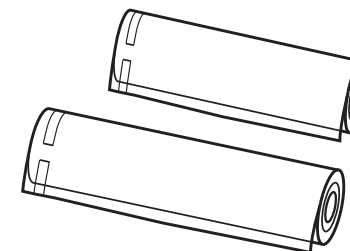


●フードセーバー® V2244



●アクセサリホース

キャニスター（別売）、真空ボトルストッパー（別売）で吸引するときに使用します。



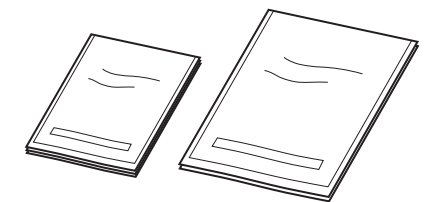
●専用パックロール

パックするときに使用します。食品の大きさに合わせてカットして使用します。

（横 200mm×長さ 3m）

（横 280mm×長さ 3m）

材質：ポリエチレン、ナイロン、ポリオレフィン
耐熱温度：100℃
耐冷温度：-40℃



●専用バッグ

パックするときに使用します。すぐに使える袋タイプです。

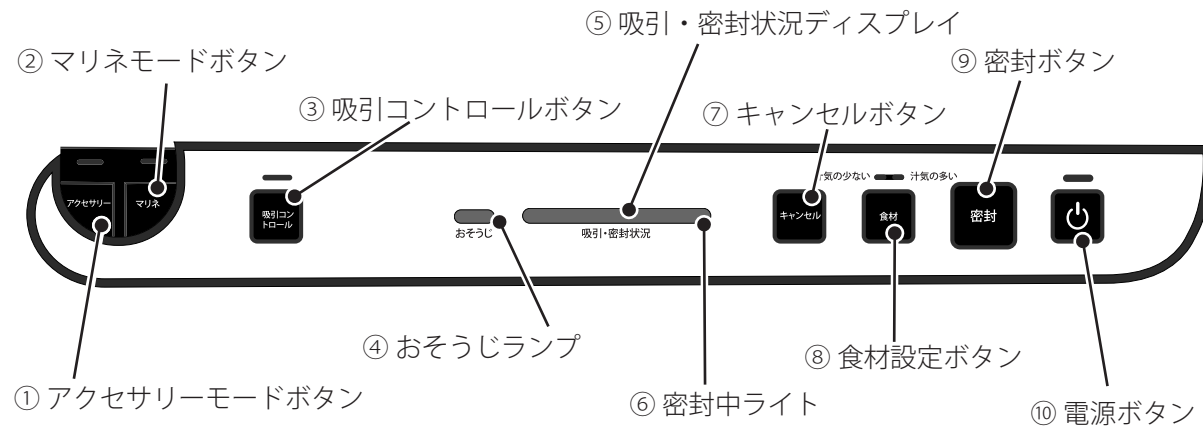
（横 200mm×縦 280mm）

（横 280mm×縦 350mm）

材質：ポリエチレン、ナイロン、ポリオレフィン
耐熱温度：100℃
耐冷温度：-40℃

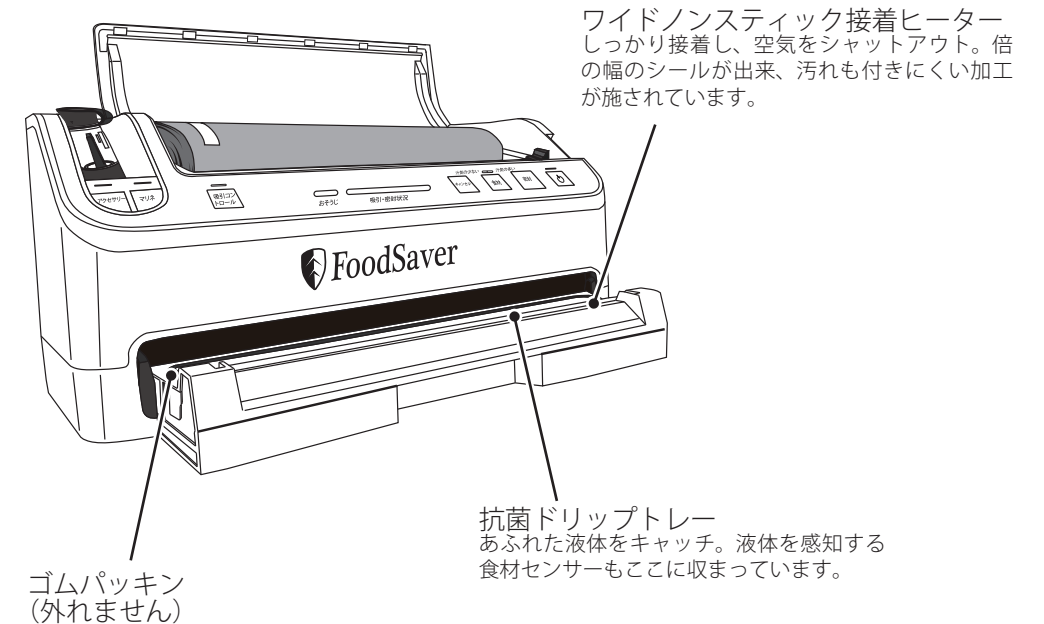
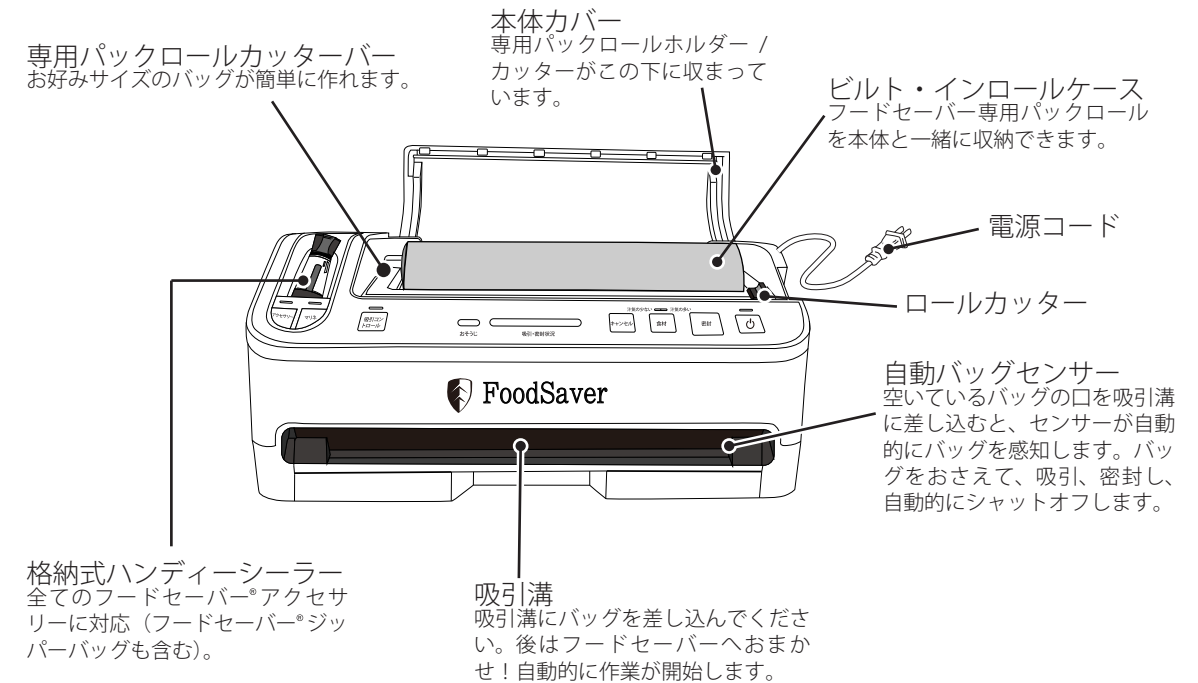
各部の名称と機能

フードセーバー® 本体各部の名称と機能について説明します。



- ① アクセサリーモードボタン
キャニスターやその他アクセサリーの吸引をおこなう際に、「アクセサリー」モードボタンを押してください。吸引完了したら、動作が自動的に停止します。
- ② マリネモードボタン
このフードセーバー® 真空保存システムには特殊なスピードマリネ機能が搭載されており、数分で完成します。
- ③ 吸引コントロールボタン
デリケートな物（崩れやすい・つぶれやすい）の吸引ができます。用途・食材に応じて空気の吸引レベルが手動で調整できます。詳しくは「柔らかい食品を吸引する場合」（16 ページ）を参照してください。
- ④ 『おそうじ』ランプ
真空パック作業中、少量の液体、食品のかけらが吸引溝に吸い込まれる場合があります。使用後は毎回必ずドリフトレーを掃除してください。ドリフトレーが液体でいっぱいになると、本体の電源が切れ、「おそうじ」ランプが点灯します。通常使用を再開する前に、ドリフトレーを取り外し、薄めた中性洗剤で洗うまたは食洗機の上段のラックに置き、洗ってください。完全に乾かしてから、本体にセットしてください。（詳しくは「お手入れ方法」（19 ページ）を参照してください。）
- ⑤ 吸引・密封状況ディスプレイ
バッグ・キャニスターの吸引状況がディスプレイに表示されます。吸引・密封の進捗が緑のランプで段階的に表示されます。作業が終了すると、消灯します。
- ⑥ 密封中ライト
密封作業が行われている間、赤いライトが点灯します。（エラーの場合、このランプが点滅します。「こんなときには」を参照してください。）
- ⑦ キャンセルボタン
吸引・密封作業をすぐに停止し、吸引溝のロックが外れます。
- ⑧ 食材の設定ボタン
「汁気を含む食材」と「汁気の少ない食材」、に最も適した吸引密封を自動的に行います。汁気を含む食材の吸引脱気を行う際、『汁気を含む』が点灯するまで『食材』ボタンを押してください。汁気が少ない食材の場合、『汁気の少ない』を選択してください。水分・汁気を感じたら、ドリフトレーに設置されている食材シールセンサーが、『汁気を含む』ランプを点滅させます。
* *途中で停止した場合、自動的に『汁気の少ない』ランプが点灯します。ただし、ドリフトレーに水分が感知された場合、『おそうじ』ランプが点灯します。（詳しくは「お手入れ方法」（19 ページ）をご参照ください。）
- ⑨ 密封ボタン
このボタンは4つの用途があります：
 1. くずれ防止機能-このボタンを押すと、瞬時に吸引を停止し密封を開始します。デリケートな食材（パン、クッキー、お菓子など）を潰さず保管することができます。
 2. 片側を閉じて、袋をフードセーバー専用バックロールから袋を作ることができます。
 3. スナック菓子を湿気から守るために密封することができます。
 4. 吸引コントロールモードで吸引し、密封することができます。
- ⑩ 電源ボタン
使用開始する際、電源ボタンを押してください。電源ランプと食材ランプが点灯します。使用後はボタンを押して、電源を「オフ」にしてください。
* *12分間動作がないと、自動的に電源が切れます。

各部の名称と機能



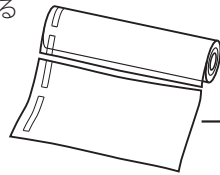
ご使用方法

フードセーバー®の目的別の使い方を説明します。詳しくは参照先のページをご覧ください。

目的

使い方

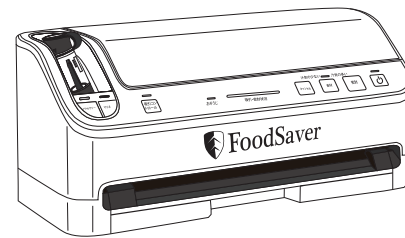
パックロールから袋をつくる



食べかけのスナック菓子などの袋を湿気から守る



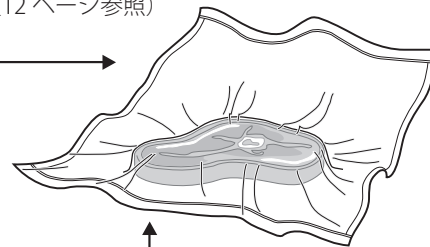
袋をつくる / 密封する (11 ページ参照)



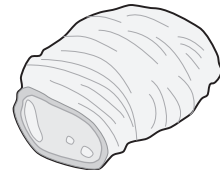
肉、魚、野菜（かぼちゃ、アスパラガスなど）の鮮度を保つ



空気の吸引 & 密封する
(12 ページ参照)



真空クッキング
(浅漬け、ローストビーフ)



銀食器の変色を防止したい



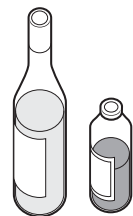
やわらかい食品や液状のものを保存する



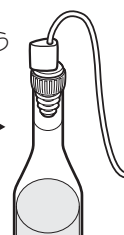
袋を使って吸引 & 密封する
(12 ページ参照)
キャニスターを使う
(14 ページ参照)



飲みかけのワイン、ジュースの保管



真空ボトルストッパーを使う
(15 ページ参照)



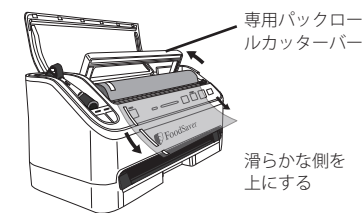
袋をつくる / 密封する

ご使用前に、2 ページ「安全にお使いいただくために」をよくお読みください。

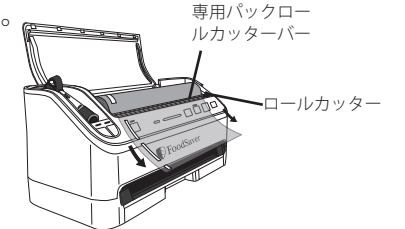
1. 電源プラグをコンセントに差し込む

2. 密封する

- 1 本体カバーを開けてから専用パックロールカッターバーを上げ、バッグをその下に設置してください。



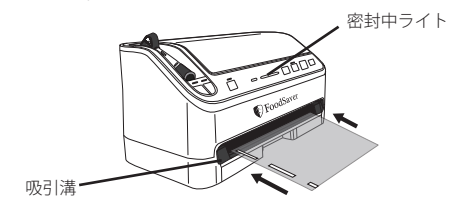
- 2 真空パックしたい商品が十分入る長さ + 10 センチまでロールを引っ張り出してください。専用パックロールカッターバーをおろし横に滑らせながら切ります。



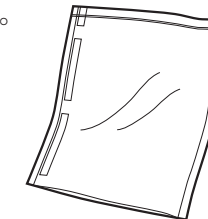
- 3 「密封」ボタンを押すと、赤いランプが点灯し、密封を開始できる状態になります。



- 4 ②で切ったバッグの片側を、ゆっくり片側を吸引溝に差し込みます。センサーが自動的にバッグを感知し、密封を開始します。



- 5 赤い密封中ライトが消灯したら、密封完了です。バッグを吸引溝から取り出せます。これで、片側が閉じられている袋が完成です。



3. 電源プラグをコンセントから抜く

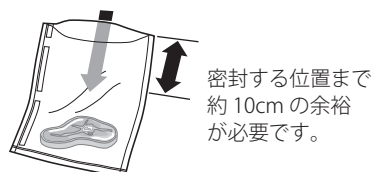
重要 密封直後は熱くなっているため、密封用ヒーターや密封された部分に触れないでください。

空気の吸引&密封する

ご使用前に、2 ページ「安全にお使いいただくために」をよくお読みください。

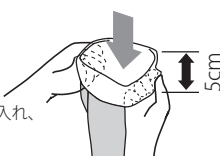
1. 電源プラグをコンセントに差し込む
2. 空気の吸引&密封する

- ①** 専用バッグ / 片側を密封した専用パックロールに食品を入れる

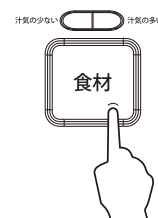


☆密封性を向上するには

※密封部に保存物が付着すると、密封できない場合があります。
※袋の口約 5 cm を折り返し、保存物を入れ、戻して使用することをお勧めします。



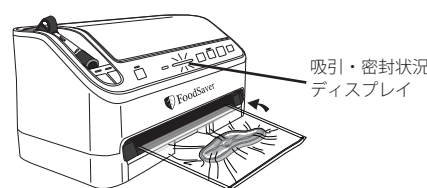
- ②** オプション機能：吸引密封工程をご自身で調整したい場合は、「食材」ボタンを押してください。初期設定は「汁気の少ない食材」に設定されています。詳しくは 8 ページを参照してください。



- ③** 本フードセーバー®は自動的に吸引・密封します。吸引をする場合：密閉ボタンを押さないでください。両手でバッグを持ち、ゆっくり吸引溝の中に、バッグの開いている側を差し込んでください。

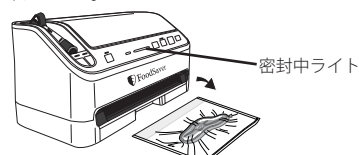


- ④** 吸引溝の中でバッグがおさえられ、吸引ポンプが作動するまでバッグを両手で持ち続けてください。吸引が開始したら、手を離しても大丈夫です。この時点で吸引・密封状況ディスプレイが点灯し、吸引・密封状況を表示します。



** 柔らかい食品を吸引する場合：
P 16「柔らかい食品を吸引する場合」をご参照ください。

- ⑤** 吸引・密封状況ディスプレイのライトが消灯したら、バッグを取り出してください。真空パックは必要に応じて、冷蔵庫・冷凍庫にて保管してください。



* 続けて吸引・密封作業を行う場合、20 秒間あけてから、次の吸引・密封作業を行ってください。

3. 電源プラグをコンセントから抜く

重要 密封直後は熱くなっているため、接着用ヒーターや密封された部分に触れないでください。

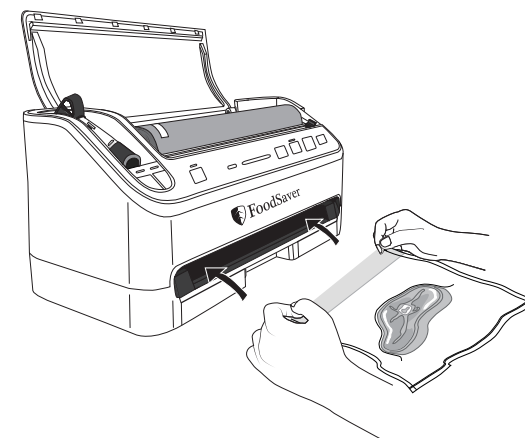
上手に吸引するコツ

吸引溝へバッグを差し込む際に、シワにならないようにお気をつけ下さい。

シワがよってしまいますと、空気が侵入する原因となり、完全な真空状態を保つ事が出来ません。バッグを密封する際、シワを防ぐためには、ゆっくり密封する側を吸引溝へ差し込み（バッグが内側に巻いている方を下向きに）、バッグの両端を両手で優しく引っ張り、平らに持ちながら、吸引ポンプが作動するまでおさえてください。もし吸引・密封作業が完了してから、密封シール面にシワが出来ているのを発見した場合、シワのある方をハサミで切り、再度吸引・密封の作業を行ってください。

万一、モーターが 30 秒以上連続して作動している場合は、下記の確認を行ってください：

もし、アクセサリモードボタンを利用して真空保存を行っている場合、「格納式ハンディーシーラー」の接続部位がしっかり取り付けられている事を確認してください。

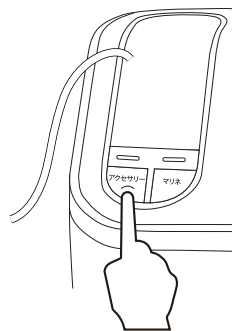
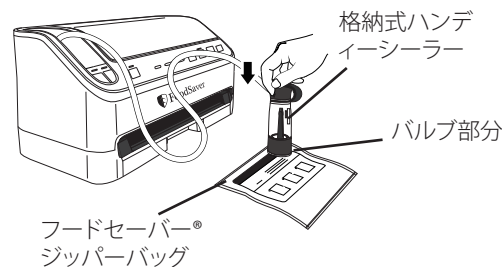


アクセサリモードボタンの使い方

ご使用前に、2 ページ「安全にお使いいただくために」をよくお読みください。

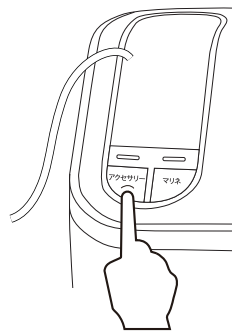
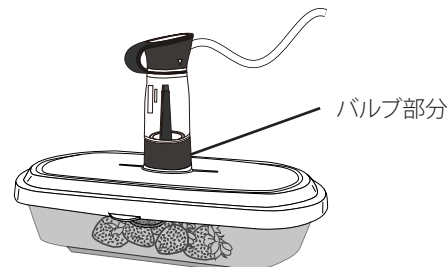
フードセーバー® ジッパーバッグ

1. ジッパーバッグに食材を入れてください。バルブ部分の下には食材が無いようにしてください。平な場所にバッグを置き、指でジッパーの上をおさえ、バッグを閉じます。
2. 格納式ハンディーシーラーを本体から取り出します。バルブ部分をバッグ部分にあてます。
3. 吸引を開始するためにはアクセサリボタンを押してください。吸引が終わると、自動的に吸引が停止します。



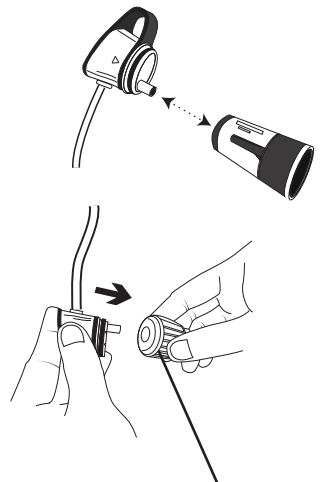
真空ボックス

1. 格納式ハンディーシーラーを本体から取り出します。グレーのバルブを真空ボックスにあてます。
2. 吸引を開始するためには「アクセサリ」ボタンを押してください。吸引が終わると、自動的に吸引が停止します。

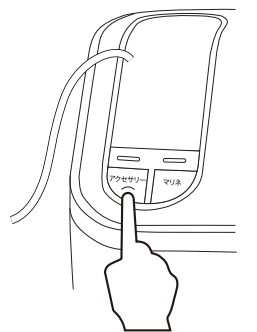
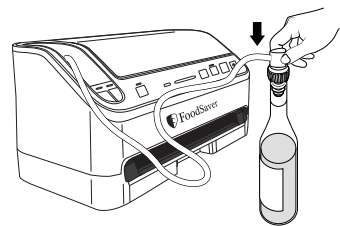


真空ボトルストッパー

1. 格納式ハンディーシーラーを本体から取り出し、ハンディーシーラー機の透明部分を引っ張り、外してください。格納式ハンディーシーラーの黒い上部を真空ボトルストッパーに接続します。空気の漏れの原因になりますので、奥までしっかりと差し込んでください。
2. 吸引を開始するためにはアクセサリボタンを押してください。吸引が終わると、自動的に吸引が停止します。
3. 動作が停止したら、終了です。格納式ハンディーシーラーをゆっくり回しながら、取り外してください。
4. しっかり脱気されているのを確認するためにフタを引っ張ってください。脱気が成功していれば、フタは動きません。
5. 格納式ハンディーシーラーに本体に戻す際、コードを優しく引っばると、自動的に巻き戻ります。巻き戻しの最中、ハンディーシーラーを持ちながら行ってください。巻き戻しの最中は、手を離してしまいますと、ハンディーシーラーが破損する場合があります。



フードセーバー®
専用真空ボトル
ストッパー



注意: 赤い線よりも格納式ハンディーシーラーを本体から引っばり出さないで下さい。コードの巻き戻しができない場合はコードの赤い線周辺を持ち、少し強めに、本体からカチッと音がするまで引っばると巻き戻されます。

重要

- ・炭酸飲料のびんでは使用しないでください。
- ・人肌 (約 35~37℃) よりも熱い液体が入っているびんの吸引はおやめください。真空状態に近くなると、気圧の差が生じて急激に沸騰する恐れがあります。

柔らかい食品を吸引する場合

柔らかい食品を吸引する際は、「吸引コントロール」ボタンを使用します。

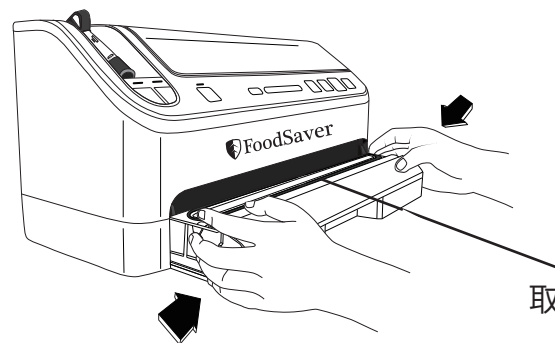
1. バッグに保存したいものをいれ、内容物からバッグの端まで約10センチの余裕を空けてください。
2. 「吸引コントロールボタン」を押してください。吸引コントロールがセットされるとLEDが点滅します。
3. 吸引溝にバッグの開いている側を差し込んでください。自動的にバッグを感知し、バッグをおさえます。
4. 吸引コントロールボタンを押し続けてください。ボタンを押している間は、吸引されます。吸引を停止したい場合は、ボタンを放してください。パックする内容に応じて、好みの吸引レベルまで押し続けてください。
**：数回「吸引コントロールボタン」を押しても吸引が行われない場合、完全に真空状態まで達したという事になります。この場合は、続けて「吸引コントロールボタン」を押し続けしないでください。
5. 吸引コントロールモードを終了するには、「密封」ボタンを押し、バッグを密封してください。
6. 赤い「密封中ライト」が消灯したら、バッグを本体から取り出してください。必要に応じて、冷蔵庫・冷凍庫での保存を行ってください。
**：真空状態が数分で完了しない場合、吸引機能が自動的に停止します。

吸引コントロール

ドリップトレイ（受け皿）のお手入れ

この商品には取り外しが可能なドリップトレイ（受け皿）が本体引き出しに付いています。

1. 本体引き出しを手前に取り出し、ドリップトレイの両端を持って、軽く持ち上げると、本体引き出しから取り外しができます。
2. 台所用中性洗剤とぬるま湯で洗ってください。食洗機の上段で洗う事も可能です。

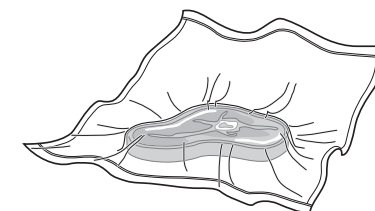


取り外し可能なドリップトレイ

上手な保存方法のヒント

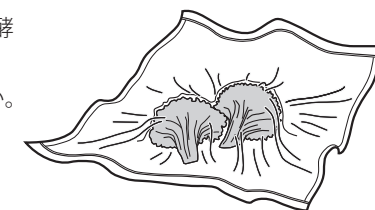
●肉・魚

- ・肉汁などが多くてパックできない場合は、ペーパータオルで水分を取り除いてから袋に入れてください。
におい移りや、冷凍やけ防止に役立ちます。
- ・冷蔵庫の保管だけでなく、吸引密封した肉・魚をクーラーボックスに入れて、アウトドアに持って行くこともできます。



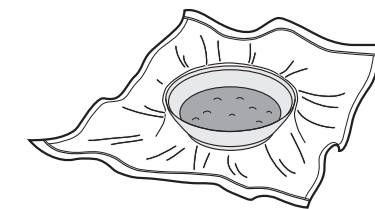
●野菜

- ・密封保存する前に軽くゆでることによって、鮮度、色、香りを劣化させる酵素の活動を遅らせることができます。ただし、ゆですぎにご注意ください。新鮮なうちに沸騰したお湯でゆでるか、電子レンジで加熱してください。その後冷まして水分を取り除いてから吸引密封します。
- ・使用分ごとに小分けしてパックすると調理時に便利です。
- ・香りの強い野菜はガスを発生させますので冷凍庫で保存してください。



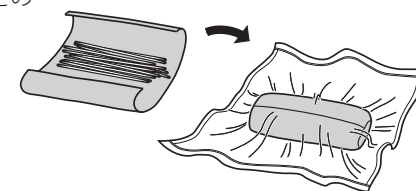
●液状の食品

カレーやシチューなどはキャニスターをご利用ください。専用バッグ / 専用パックロールを利用する場合は、深皿やバットに入れて事前に凍らせてから吸引密封します。



●その他の食品

- ・米、パスタのように固くつながった部分がある食材はペーパータオルなどのクッション材で包んでから吸引密封します。
- ・角のある箱状のパッケージは袋に穴が開くことがあります。角のないものに移し替えてから吸引密封します。
- ・小麦粉や粉末状のコーヒーなどは吸引口から吸い込まないように、パッケージごと専用バッグに入れて吸引密封します。
- ・シュークリーム、いちごなど柔らかい食品を保存する場合は、キャニスターをご使用ください。専用バッグ / 専用パックロールで保存する場合は、P16「柔らかい食品を保存する場合」をお読みください。



●食料品以外

食品以外のものでも、酸化 / 腐食 / 湿気から守るために利用できます。

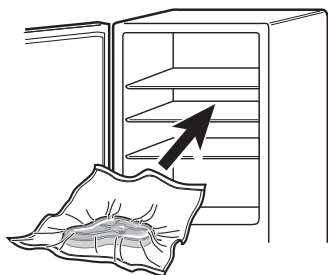
- ・銀食器・銀製品：空気に触れないことで黒ずみを防止できます。フォークなどがつたものはペーパータオルで包んで吸引密封します。
- ・アウトドア用品：衣類や道具をコンパクトにまとめられます。また、水漏れ防止にもなります。
- ・緊急時用品：ライト、電池、ろうそく、マッチなどをひとつの袋にまとめてパックし、常備できます。

⚠注意

- ・水分の多い食品は密封できない場合があります。水分の多い食品はあらかじめ冷凍してから吸引密封してください。水分が吸引口に流れ込み、故障の原因になります。
- ・ろうそくなどは、温度上昇により形が崩れる場合があります。高温にならない場所に保管してください。

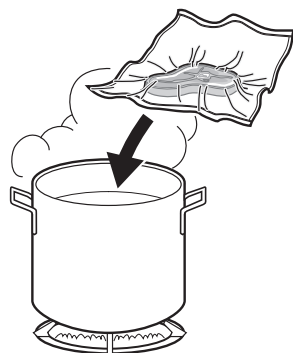
解凍・調理する

●解凍



冷蔵庫内で解凍します。常温では解凍しないでください。
電子レンジを使う場合は、袋の角を切ってください。

●湯せん

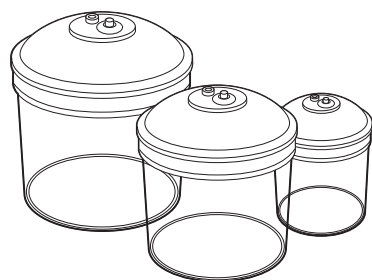


専用バッグ/専用バックロールは、湯せんによる加熱・調理をおこなうことができます。
※沸騰寸前のお湯（100℃以下）で調理してください。

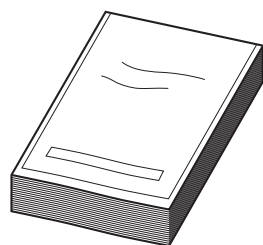
●電子レンジで調理

電子レンジで温める場合は、袋の角を切ってください。

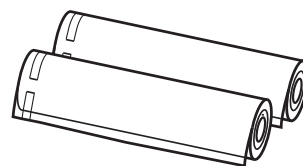
別売品



・キャニスター 3点セット



・専用バッグ



・専用バックロール

別売品に関するご質問は下記の「カスタマーサービスセンター」までお問い合わせください。

お問い合わせ先
カスタマーサービスセンター
☎ 0120-36-2040
受付時間 平日10:00～18:00（祝日、年末年始を除く）

お手入れ方法

お手入れ方法について説明します。

⚠警告

- ・お手入れを始める前に、電源コードがコンセントから抜けていて、密封ヒーターが常温になっていることを必ず確認してください。
- ・火災、感電、ケガを防ぐため、フードセーバー® 本体、電源プラグ、および電源コードを水などの液体に浸けないでください。

●本体のお手入れ

電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。絶対に水や液体などに浸けないでください。

ドリップトレイを取り外し、中性洗剤とぬるま湯（又は食洗機の上段に設置して）洗ってください。ドリップトレイ近くのゴムパッキンに食べ物が付いていないかどうか確認し、丁寧に水を含ませ硬く絞ったやわらかい布で拭き取ってください。
ゴムパッキンは取り外さないでください。

●抗菌ドリップトレイ

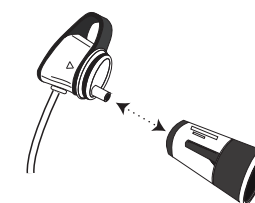
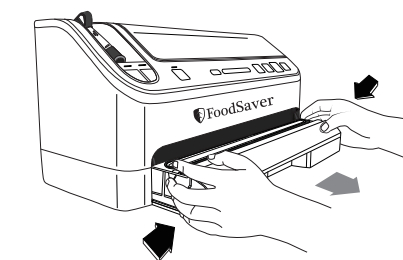
ドリップトレイは本機使用後、毎回空にしてください。台所用中性洗剤とぬるま湯（又は食洗機の上段に設置して）で洗ってください。水・液体がトレイに残っている状態では食材センサーが正常に作動しません。

本機は「おそうじ」ランプが搭載されています。ドリップトレイが液体でいっぱいになると、「おそうじ」ランプが点灯し電源が切れます。通常使用を再開したい場合は、本体引き出しを手前に出し、引き出しの中にあるドリップトレイの両端を持ち、取り出してください。ドリップトレイを元に戻す際、右端を先に設置してから、両端を押し込んでください。ドリップトレイ無しでも本体は使用できますが、ドリップトレイが設置されていない場合は、食材センサーが作動しません。

●格納式ハンディシーラーの透明部分

毎回、使用後は格納式ハンディシーラーに取り付けられている透明の容器を薄めた台所用中性洗剤で洗い、完全に乾かしてから、元に戻してください。

重要：
格納式ハンディシーラーから透明部分を取り外す場合、ホースの付いている黒い上部分を持ちながら、透明部分を下に引っ張り外してください。



⚠注意

フードセーバー® を持ち運ぶときは、フードセーバー® 本体の下側を持ってください。ふたの部分を持つと、本体が開き、破損・故障・ケガ・事故の原因となります。

こんなときには

フードセーバー®使用時のトラブル対処方法について説明します。

症状	対処方法
赤の「密封中ライト」が点滅している。	・ バッグが正しく挿入されていません。バッグと一度取り外し、点滅が止まるまで待ち、再度バッグを挿入してください。 ・ 連続して使用する場合は 2 0 秒以上使用間隔をおいてください。 ・ 本体の保護センサーが作動したため、本体が冷めるまで数分間使用しないでください。
吸引ポンプが作動していて、バッグから空気が吸引されません。	・ バッグを専用バックロールから作った場合、片側が必ず密封されている事を確認してください(「袋を専用バックロールから作る」(11ページ)を参照ください) ・ ドリップトレイの引き出しを手前に引き、異物、ゴミなどがゴムパッキンに付いていない事を確認してください。(詳しくは「保管とお手入れ」(19ページ)を参照ください)
バッグが密封されません。	・ バッグの中に液体が多過ぎる可能性があります。吸引・密封する前に減らしてください。 ・ 接着部分のシワを防ぐのには、吸引溝に差し込む際、軽くバッグを延ばしながら挿入してください。吸引ポンプが作動するまでこの状態でおさえ続けてください。 ・ 本体の保護センサーが作動しました。本体が冷めるまで数分間使用しないでください。
コントロールパネルのライトが点灯しません。	・ 電源コードをコンセントに正しくさし込んでいますか？ ・ コンセントに電源がきていますか？ヒューズ又はブレーカーを確認してください。 ・ 電源オン・オフのボタンを押してみてください。
バッグを差し込んでも、作動しません。	・ 本体が電源に接続されている事を確認してください(前項を参考にしてください) ・ ドリップトレイがいつか壊れている可能性があります。中味を取り出し、きれいに洗ってから本体に戻してください(「保管とお手入れ」(19ページ)を参照してください) ・ バッグの内容物が多過ぎる可能性があります。食品とバッグの開封口から10センチ以上の余白を必ず残してください。 ・ バッグが正しく挿入されていません。バッグは内側の巻きを下向きに吸引溝に挿入してください。吸引ポンプが作動するまでバッグを固定してください。
おそうじランプが点滅している。	・ ドリップトレイに液体が入っているが汚れています。液体は捨て、ドリップトレイをきれいに洗い、元に戻してください(詳しくは「保管とお手入れ」(19ページ)を参照してください)
ハンディーシール機が吸引しません。	・ バッグのジッパーが閉じている事を確認してください。 ・ バキュームバルブが平らな面に置かれていません。バッグを移動し、バキュームバルブが平らな場所におき、バルブがある所には食材があたらないようにしてください。
空気を一度吸引したのですが、またバッグに空気が入ってしまいました。	・ バッグのジッパー又はバルブを確認してください。ジッパーやバルブに食品が付いていると、空気が侵入する可能性があります。 ・ 食材からの水分やジッパーや接着面に沿っての食材、バルブ付近の食材が完全な吸引・密封状態を妨げる場合があります。この場合、ジッパー、接着面やバルブ付近を拭き取り、再度、吸引・密封を行ってください。 ・ とがった食品などをパックした場合、袋に穴が空いてしまった可能性があります。穴が空いている場合は、新しいバッグをご使用ください。とがった食品はクッション材(ペーパータオル等)で一度包み、軽く吸引・密封してください。
フードセーバー®真空ボックスの空気の吸引ができません。	・ バルブ部分には食材や異物がない事を確認してください。 ・ 真空ボックスのフチにヒビ、キズなどがなくを確認してください。ちょっとした隙間でも吸引が出来ない可能性があります。
それでもお困りの場合は：	・ カスタマーサービスにお問い合わせください：0120-36-2040 ・ その他使用方法のヒントやよくある質問に対する回答はを参照したい場合は：www.foodsaverjapan.com をご覧になってください。

仕様

型名	フードセーバー® V4880		
電源	100V 50/60Hz	消費電力	105W
外形寸法	約 410x180x224mm	重量	約 4.2kg
使用可能な袋	専用バッグ、専用ジッパーバッグ、専用バックロール		

保証書

この度は当社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

この保証書は、保証期間中に故障が発生した場合には、下記の無料修理規定にしたがって無料修理を行うことをお約束するものです。

この製品が、万一保証期間内に故障した場合は、カスタマーサービスセンターにご連絡願います。

保証期間内に限り無料にて修理させていただきます。(ご返送の際に発生する送料はお客様のご負担となります。)

※修理を希望される場合、本書とフードセーバー®のお買い上げ証明(お買い上げ明細書、レシート、領収書など)の提示が必要となりますので、保証書とお買い上げ証明を大切に保管してください。

【品名：フードセーバー® V4880】

お客様ご氏名：様

ご購入日：年 月 日

お客様ご住所：〒

保証期間：ご購入日より 1 年間

お客様電話番号 (購入時)

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明な点がございましたら、下記の当社カスタマーセンターにお問い合わせください。

無料修理規定

1. 取扱説明書・本体貼付ラベル等の注意書きにしたがった使用状態で故障した場合は、保証期間内に限り無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。

(a) 本書の提示がない場合

(b) お買い上げ明細書がない場合および本書の字句を書き替えられた場合。

(c) 使用上の誤り、または不当な修理・改造による故障および損傷。

(d) お引き渡し後の輸送・落下・水濡れ等による故障および損傷。

(e) 火災・公害・異常電圧および地震・落雷・風水害・その他の天変地異による故障および損傷。

(f) 過酷な条件のもとで使用されて生じた故障および損傷。

(g) 故障の原因が本機以外にある場合。

(h) 付属品等の消耗品の交換。

(i) 車輻船舶などに搭載されて生じた故障および損傷。

(j) 一般家庭用以外の用途(業務用など)で生じた故障および損傷。

(k) 取扱説明書に記載された「安全のご注意」を守られていない場合の故障。
3. 直接修理窓口へ送付した場合の送料等や出張修理を行った場合の出張料等は、お客様の負担となります。
4. 消耗品は保証対象外となります。
5. 本製品の故障に起因する付随的損害については責任を負いかねます。
6. 保証に関して不明の点がございましたら、当社カスタマーサービスセンターにお問い合わせください。
7. 本書は日本国内においてのみ有効です。
8. 本書は再発行しませんので大切に保管してください。

お問い合わせ先

カスタマーサービスセンター

☎ 0120-36-2040

受付時間 平日10:00～18:00(祝日、年末年始を除く)

輸入元：コールマンジャパン株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦 4-9-25 芝浦スクエアビル